

安来市議会「やすぎ未来トーク」報告書

開催日時：令和2年8月18日（火）14：30 ～ 16：30

開催場所：安来市役所 4階 議場

報告書作成者：向田 聡 提出年月日：8月31日

1. 出席者等の状況

申込者の状況		参加者数（生徒）		
団体等の名称	代表者氏名	男	女	計
安来市中学校長会	伯太中学校校長 秦 誠司（担当校）	8人	7人	15人

派遣議員の状況
安来市議会議員 全20名

2. 主な質問・意見等（要点を箇条書きで。）

《いじめ問題の解決のために安来市中学校生徒会として取り組む》

「安来市中学生いじめ撲滅行動目標（IAG's）2020」の取組を共有しよう

- (1) 「いじめ撲滅宣言」並びに「行動目標」を全員で読み上げ確認する。
- (2) 「行動目標」を受けた各中学校の取り組み・今後の計画について発表をする。
（一中・二中・三中・広中・伯中の順で）

(3) 議員からの意見感想

- ・生徒会役員を務める中で、いろいろな苦労がある中で、それぞれの行事をこなし、こうやってまとめもされ発表されたことは大変すばらしいことだったと思う。各校特色ある取り組みを聞かせていただいた。これから次の世代を担う安来市民の一人として、それぞれの立場で、安来の将来のために活躍していただきたい。
- ・今日は貴重な経験を皆さんはされたと思う。このことを忘れずに、次の代を担う安来の市民として、大いに羽ばたいて頑張っていたいただきたい。
- ・意見箱を活用しておられるが、書くときのルールや入っている意見に対してどういう相談や話し合いをしておられるのか。→これからの取り組みになるが、何でも意見を出してもらい、自分たち（生徒会）で改善していこうと考えている。
- ・言葉は「ことのは」ともいうが、二中では長所の本の取り組みをしておられる。

言葉を大切に、自分でどういうふうに言えば相手に伝わるか、一度間をおいて考え表現するという意味ではいい方法ではないか。

- ・各中学校ともあいさつ運動を重点的に取り組んでおられて、人と人をつなぐという意味で大変大事な活動ではないかと思っている。実際に登下校時或いは出会った時にあいさつを交わしてくれてうれしく思う。
- ・自分のいじめについての苦い経験が今も忘れられず残っている。今行っている三つの行動目標はとても素晴らしい取り組みだと思うので、今やっている活動を生かし、大人になってからもその気持ちを忘れず、続けていってほしい。
- ・最近、大人自身も人権についてきちんと考えなければならない時代になっている。最初から偏見や先入観でものを見ない、お互いを尊重し合う姿勢を持ちたい。いじめている人といじめられている人だけの問題ではなく、いじめを見ている人にも呼び掛ける「いじめ撲滅宣言」は、みんなで考えようとする姿勢が感じられて素晴らしい。
- ・アンケートで、10～20数パーセントの人が、相手の良さを認めたり、公平に接したり、明るい挨拶を交わしたりができていないという結果も出ていたが、そうした出来なかった人に、どのような形で手を差し伸べるか、一緒に歩み寄り親しくなっていくかというところからいじめがなくなっていくのではないだろうか。
- ・「いじめ撲滅宣言」は素晴らしい宣言だと思う。安来市内の学校から、いじめゼロにするようにみなさんの活動に期待している。将来のある皆さんのため、しっかり勉強をして、地元安来市のため、頑張ってください。
- ・行動目標の3つ目の、個性を理解するということは、その人の苦手なところをしっかりと見てあげる、理解してあげる、そして手を差し伸べる方法も考えてあげるなど、弱いものを守っていくという点が重要ではないかと思っている。
- ・アンケートなど共通での取り組みを広げ、5校の共通評価をしてみてもいいのでは。
- ・よい校風を作っていこうという姿勢が大変強く感じられた。まず安来から変えていこうという気持ちで、今後とも頑張ってください。

(4) 振り返り・発表から

- ・他校の発表や議員さんからの意見を聞き、たくさん参考になることがあった。違った視点での活動の意見・アドバイスが聞けて良かった。
- ・議場を使わせていただき、大変緊張したが、各学校の取り組みや大人の方の話も聞けてとてもいい体験ができた。
- ・他校の様子を聞き、いじめ撲滅の視点での取り組みがどれも暖かくて、自分たちにもできる活動（あいさつ運動・長所の木・ありがとうボックス・バースデイリングなど）があることが分かり参考になった。
- ・安来の5校の力を合わせれば、よりよい安来のまちが見えてくるのではないかと感じた。

